

第2回大野市総合計画審議会 次第

日時：令和7年1月30日（木）午後2時～

場所：結とぴあ305、306

1 開会

2 報告事項

（1）後期基本計画の策定状況・スケジュールについて …資料1，2

（2）市民意識調査の結果概要について …資料3

3 議事

（1）後期基本計画の体系等（案）について …資料4

（2）後期基本計画の現状と課題の整理について …資料5

（3）その他

4 閉会

大野市総合計画審議会 委員名簿

(第2回)

No	区分	関係団体・役職等	氏名	備考
1	学識経験者	仁愛大学 特任教授	南保 勝	会長
2	関係団体 役職員	大野市区長連合会 会長	米村 博之	
3		大野商工会議所 会頭	稲山 幹夫	
4		(一社)大野建設業会 会長	森尾 義治	
5		福井県農業協同組合 奥越統括支店長	山崎 一三	
6		九頭竜森林組合 代表理事組合長	馬場 功	
7		(一社)大野市医師会 会長	高井 博正	
8		大野市PTA連合会 会長	尾山 勝也	
9		大野市立保育園保護者連合会 会計	飯田 圭佑	
10		みらい子育てネット大野 事務局	川田 香菜子	副会長
11		(社福)大野市社会福祉協議会 会長	福田 洋一郎	
12		(公社)大野青年会議所 理事長	石田 亜弥	変更
13		大野男女共同参画ネットワーク 会長	齊藤 博子	
14		大野市老人クラブ連合会 会長	金森 関治	
15		大野市文化協会 会長	羽根田 繁紀	
16		大野市スポーツ協会 会長	長谷部 祐円	
17		(一財)越前おおの観光ビューロー 理事長	大谷 誠治	
18		連合福井・福井地域協議会大野地区連絡会 事務局長補佐	竹中 智彦	変更
19		大野市消防団 団長	本多 義信	
20		大野市木材組合	竹田 稔	
21		越前信用金庫 常勤理事	土藏 有二	
22	公募委員		合田 昌範	
23			金原 陽子	
24			畑 允子	
25			木村 有希	

事務局

No	所属等	氏名	
1	大野市行政経営部 部長	吉田 克弥	
2	大野市行政経営部政策推進課 課長	小林 勝信	
3	大野市行政経営部政策推進課 課長補佐	前田 晃宏	
4	大野市行政経営部政策推進課 企画主査	雨山 直人	

<日時>	<会議等>	<概要>
・ 6月26日	第1回 審議会	策定体制、策定スケジュール、市民意識調査 など
・ 7月4日	第1回 幹事会 ※	(上記に加え) 専門部会 など
・ 8月20日	第1回 幹事会 専門部会 地域づくり・行政経営部会	総合計画の構成や見せ方等、項目ごとの現状と課題
・ 8月22日	こども・健幸福祉部会	//
	地域経済・くらし環境部会	//
・ 9月	市民意識調査の実施	市民1,000人対象／中学3年生・高校3年生対象
・ 12月18日	第2回 幹事会 ※	市民意識調査結果の報告 後期基本計画の体系等、現状と課題の整理 など

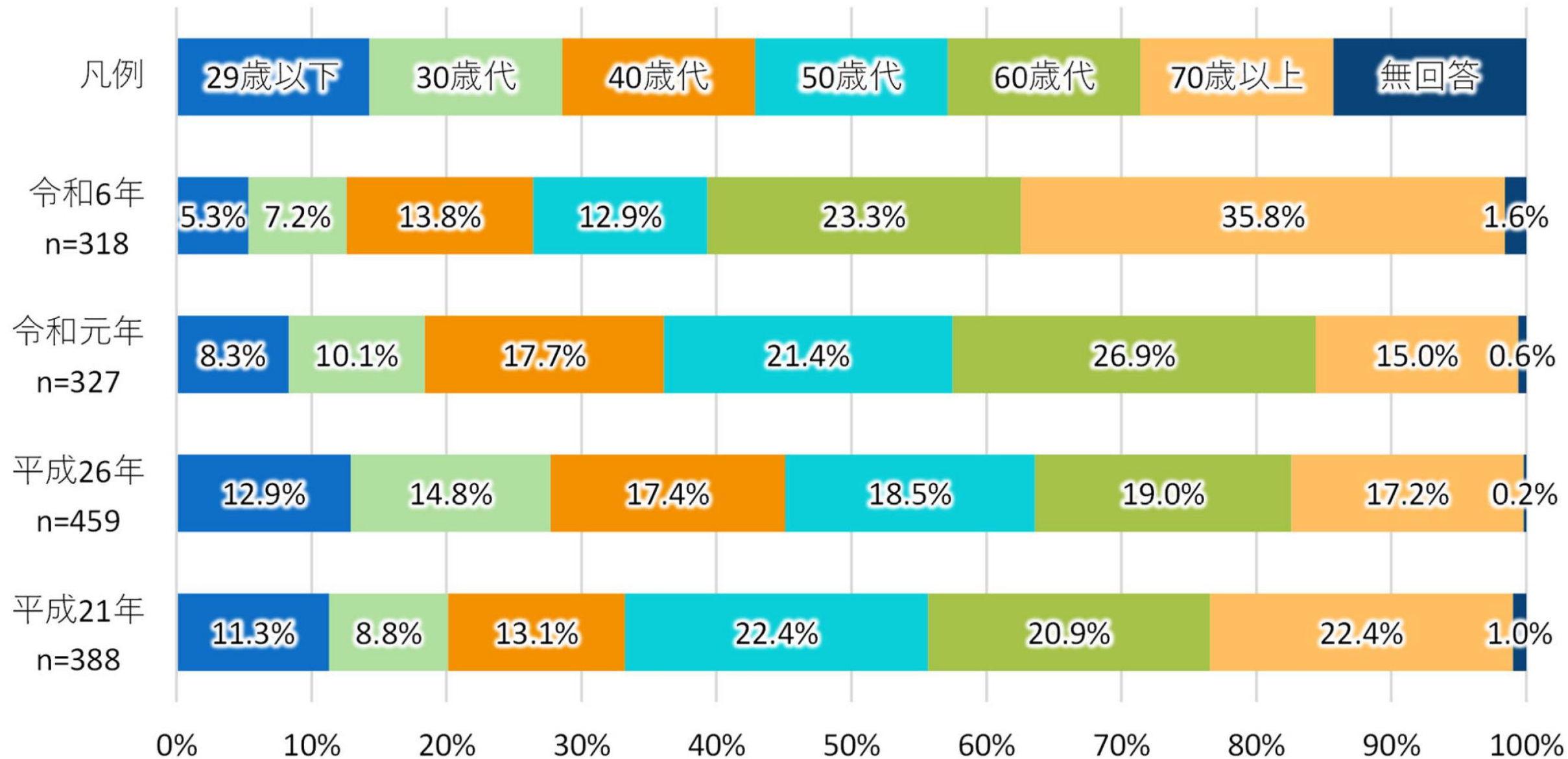
第六次大野市総合計画後期基本計画等策定スケジュール

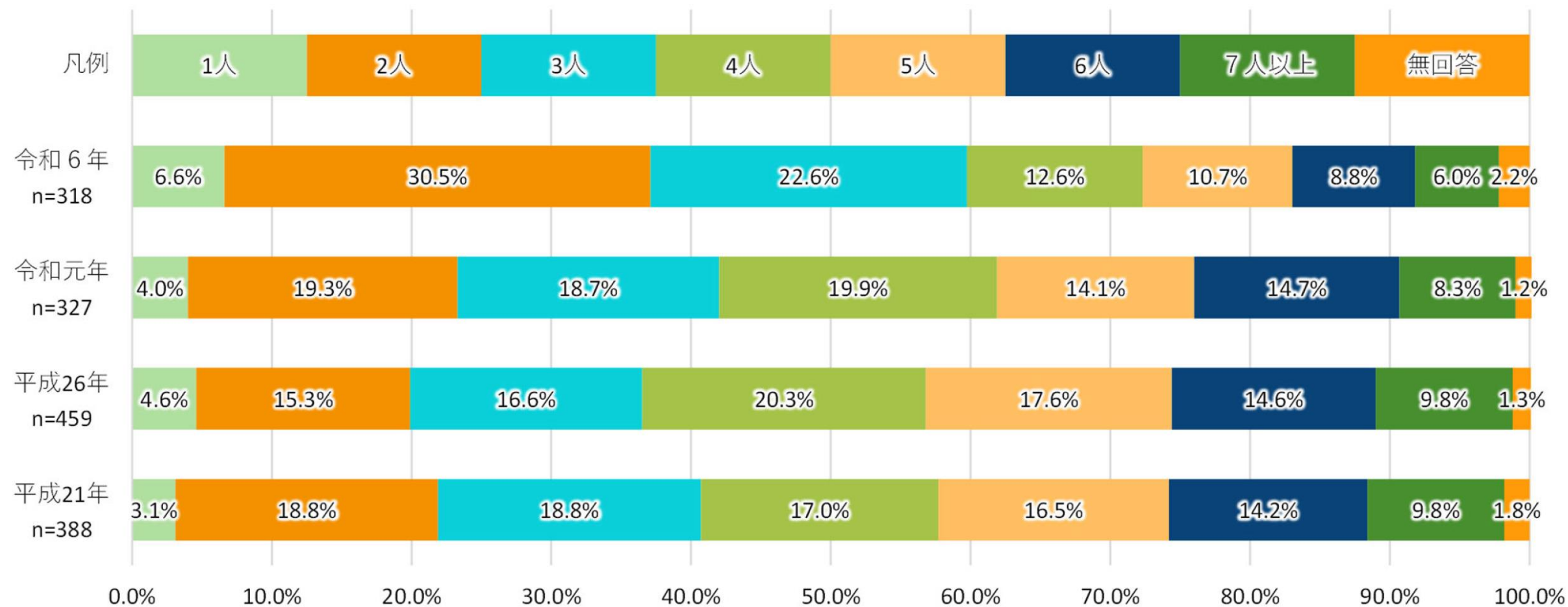
250117時点

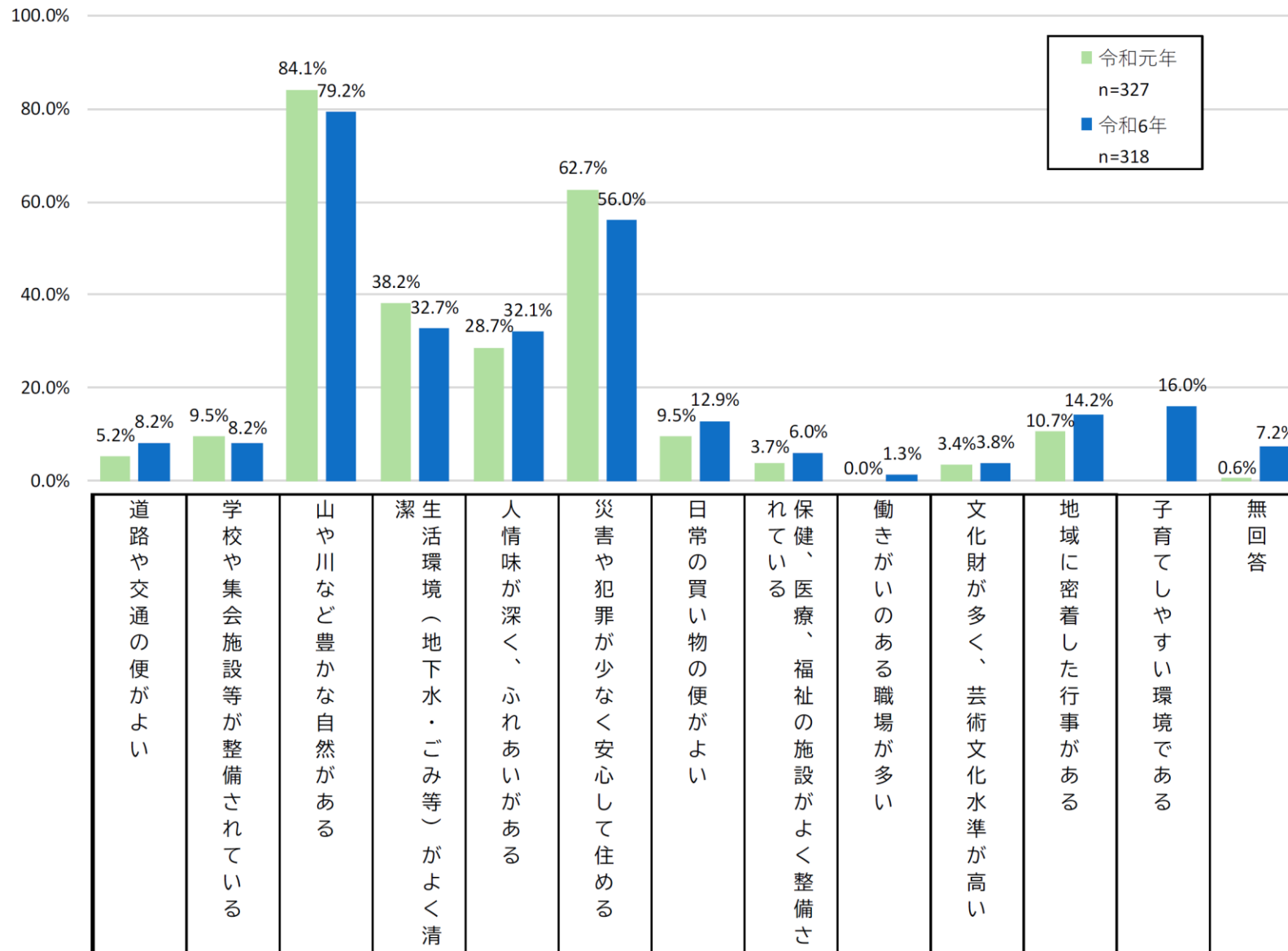
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
審議会	委員推薦依頼		■6/26 第1回 14:00諮問、会長・副会長選任 策定体制、策定スケジュール							■1/30 第2回 ・市民意識調査の結果報告 ・体系(項目、施策展開の視点等) ・現状と課題の整理		
幹事会	委員推薦依頼			■7/4 第1回 19:00 幹事長、副幹事長選任 アンケート調査	■8/20 第1回 専門部会 19:00 地域づくり・行政経営 ■8/22 第1回 専門部会 19:00 こども・健康福祉／地域経済・くらし環境				■12/18 第2回 ・市民意識調査の結果報告 ・体系(項目、施策展開の視点等) ・現状と課題の整理			
推進会議 (総合計画進捗管理、総合戦略・ 人口ビジョン策定)		庁内前年度評価		■7/4 第1回 19:00 外部評価	■8/7 第2回 10:00 前年度施策評価				■12/18 第3回 ・現年度主要施策の進捗報告 ・人口推移の確認			
庁内WG	委員推薦依頼	■5/21 第1回		■7/16 第2回 ○7/16 職員研修 (人口推計)	■8/20 第1回 専門部会 地域づくり・行政経営 ■8/22 第1回 専門部会 こども・健康福祉／地域経済・くらし環境	■9/25,27 第3回	○10/21,23 職員研修 (現状と課題の整理)	■11/25 第4回	■12/26 第5回	■1/10 第6回	■(適宜開催) 施策、成果指標の検討	
市民アンケート・ 地区別WS		設問項目検討		設計	■7/22入札・契約	印刷	発送9/11 回収9/30	集計・分析	■報告書		地区別WS (各公民館1回)	

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
審議会				■第3回 ・総合計画素案検討			■第4回 ・総合計画パブコメ案決定		■第5回 ・総合計画案決定 ◇答申			
幹事会	■第3回 ・施策案検討	■第2回 専門部会 (3分野 施策、成果指標の検討)		■第4回 ・計画案検討	■第3回 専門部会 (3分野 施策、成果指標の検討)		■第5回 ・計画パブコメ案検討					
推進会議 (総合計画進捗管理、総合戦略・ 人口ビジョン策定)	委員推薦依頼 (任期:1年)	庁内前年度評価		■第1回 ・前年度施策評価 ・総合戦略方向性	■第2回 ・前年度施策評価 ・総合戦略施策検討		■第3回 ・総合戦略パブコメ案決定 ・人口ビジョン案検討			■第4回 総合戦略・人口ビジョン案決定		
庁内WG	■(適宜開催) 施策、成果指標の検討(3分野 施策、成果指標の検討)	■第2回 専門部会 (3分野 施策、成果指標の検討)			■第3回 専門部会 (3分野 施策、成果指標の検討)		◆部長会議			◆庁議 ・後期基本計画決定 ・総合戦略、人口ビジョン決定		
地区別WS・ パブリックコメント	地区別WS (各公民館1回)								総合計画・総合戦略パブリックコメント(30日)			

調査目的	第六次大野市総合計画後期基本計画の策定に向け、前期基本計画における各施策等やウェルビーイングに関する指標について、市民への意識調査を実施し、集約した結果を中学生・高校生向け意識調査の結果とともに、分析、考察するもの。			
調査期間	市民	令和6年9月9日～9月30日		
	中高生	令和6年9月初旬～9月30日		
調査方法	市民	18歳以上の市民を無作為抽出し、郵送により調査票を配布。 回収(回答)は、郵送又はWEBのいずれかを選択。		
	中高生	市内の学校に通う中学3年生、高校3年生を対象に学校より調査票を配布。 回収(回答)は、WEBのみ。		
回収率	市民	配布1,000人	回収数318人	回収率31.8% (前回32.7%)
	中高生	配布 405人	回収数341人	回収率84.2% (前回94.5%)

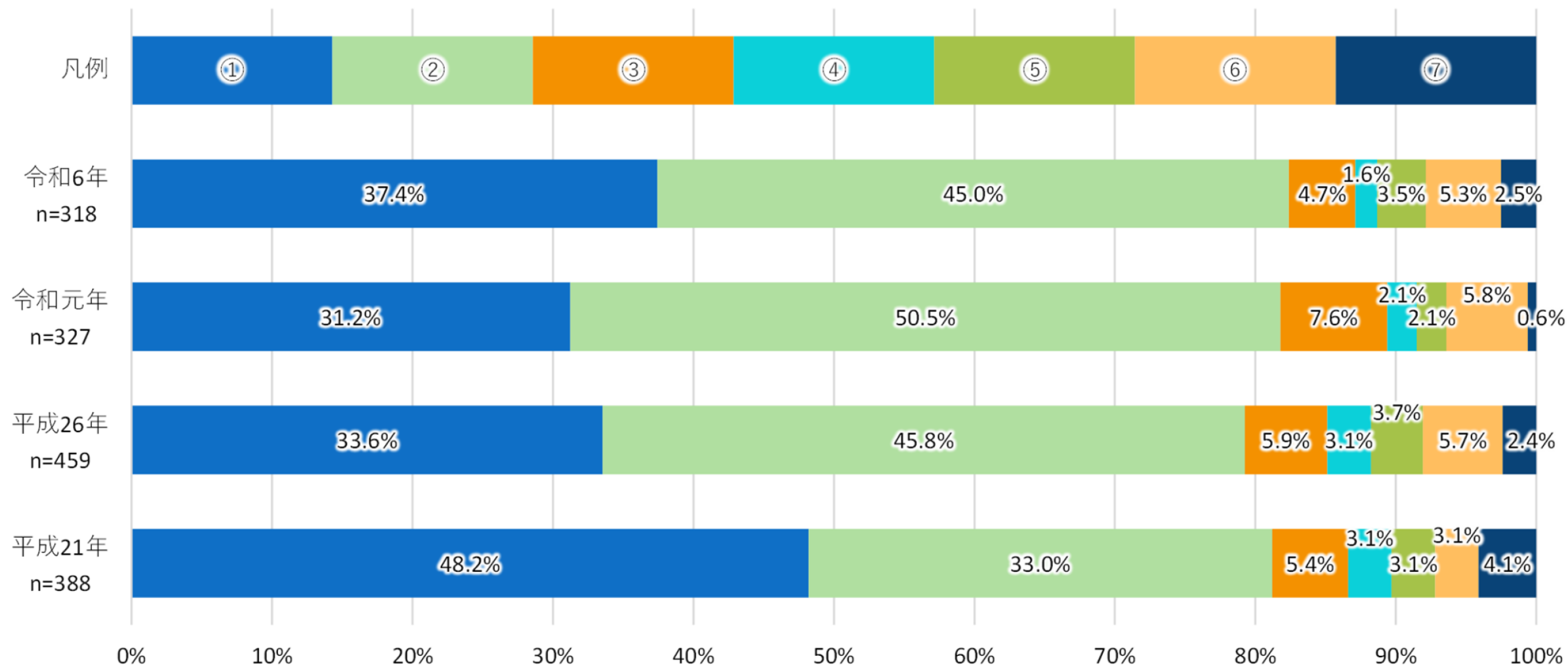


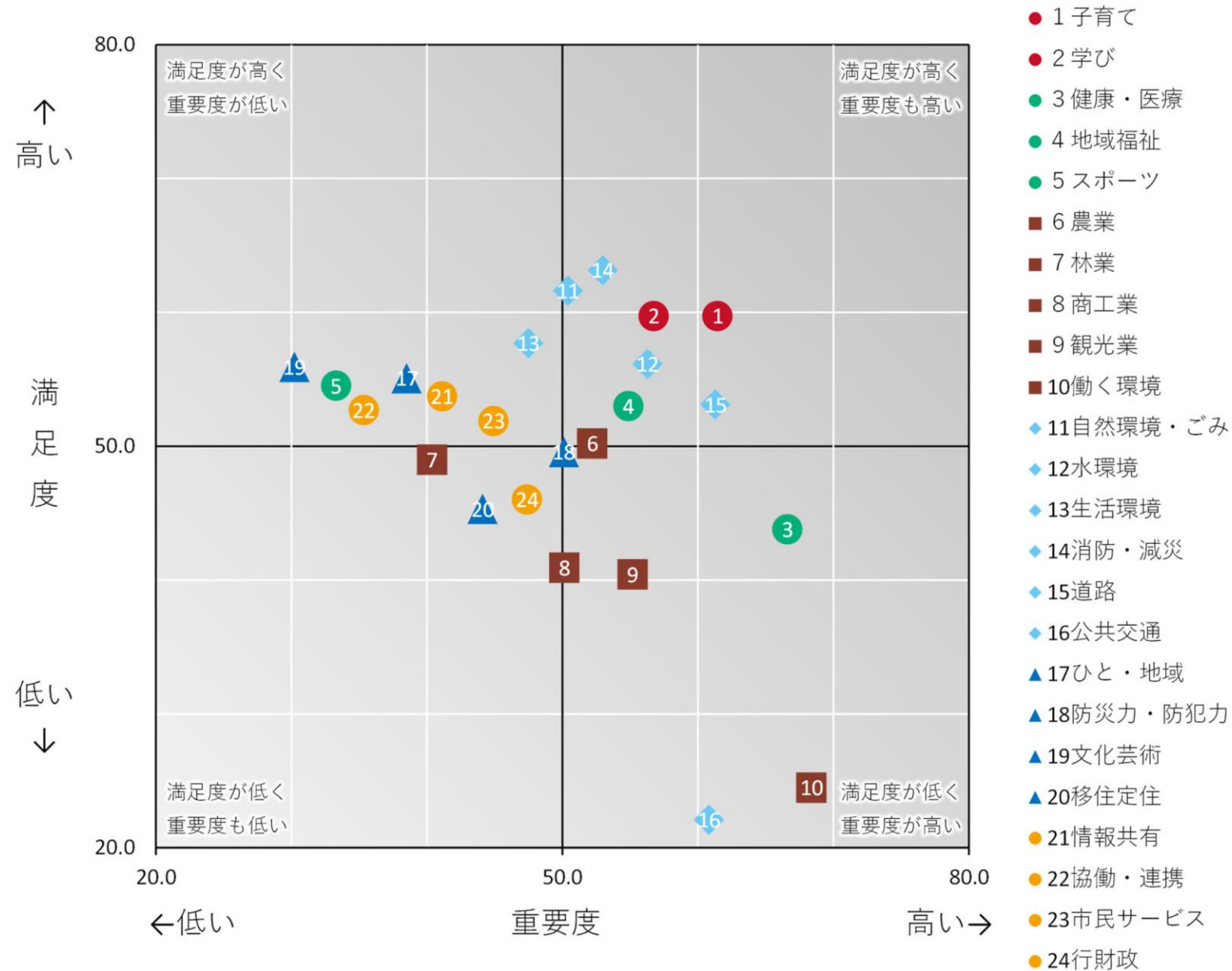




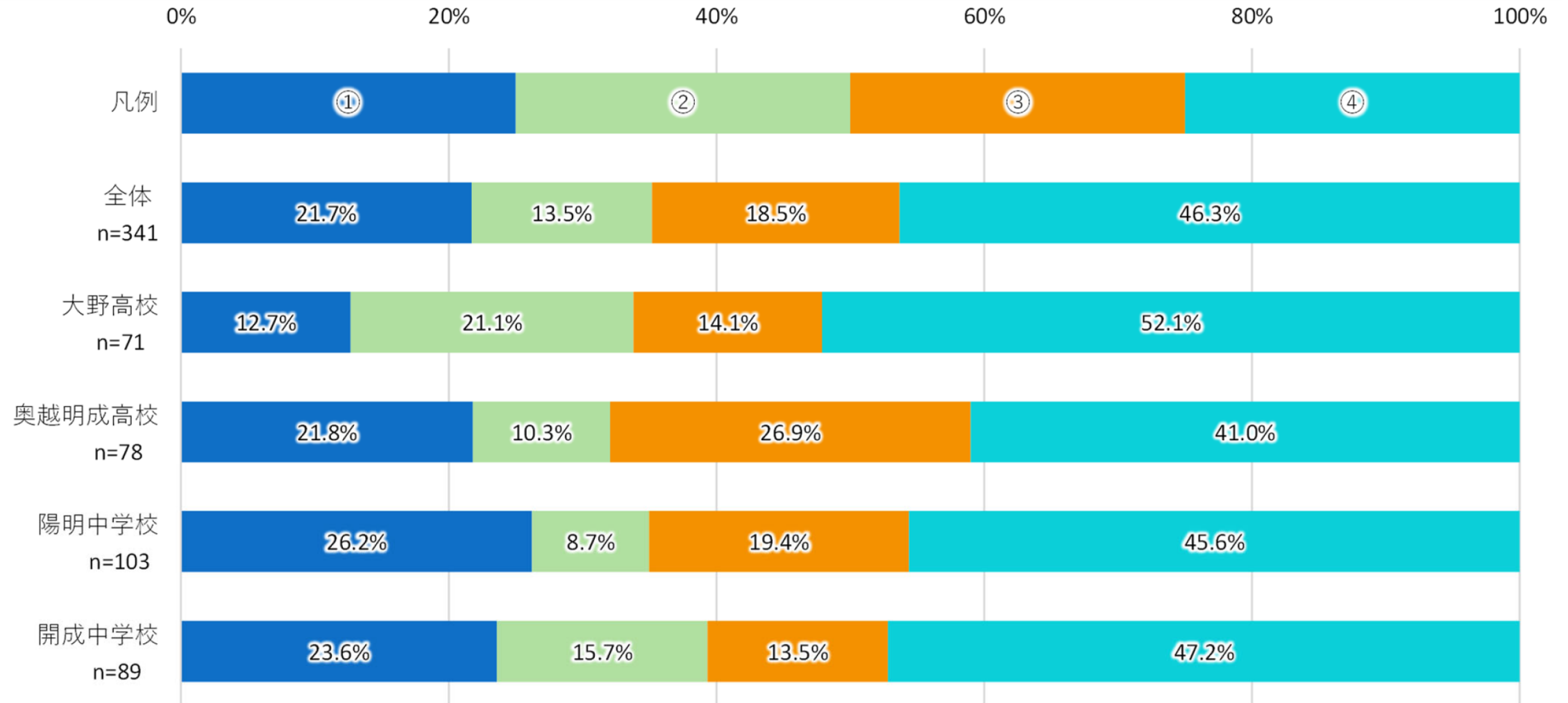
※令和元年度の調査では、「子育てしやすい環境である」は設問に含まれていません。

- ①ずっと住みたい ②今のところ住みたい ③市外へ移りたいが事情があって移れない
④事情があり、いずれ市外へ移る ⑤市外へ移りたい ⑥わからない ⑦無回答





- | | |
|----------------|------------------------|
| ①大野に住みたい | ②何年か市外に住んでその後、大野市に住みたい |
| ③福井県内のどこかで住みたい | ④福井県外のどこかで住みたい |



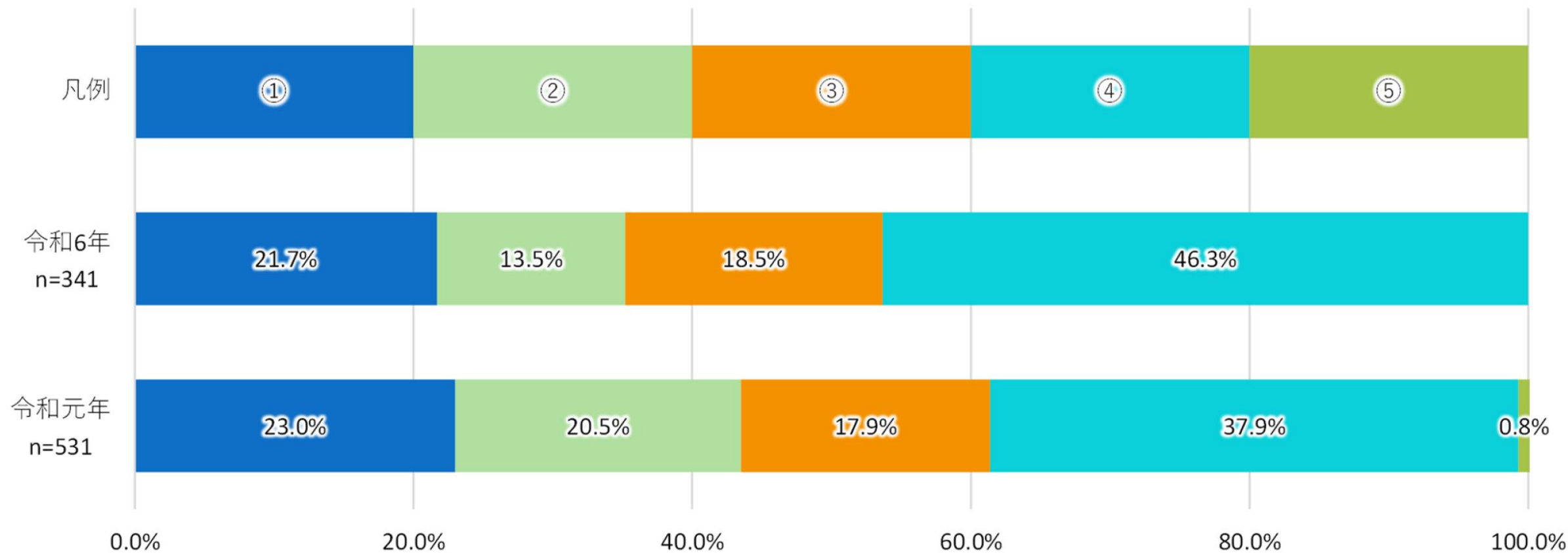
①大野に住みたい

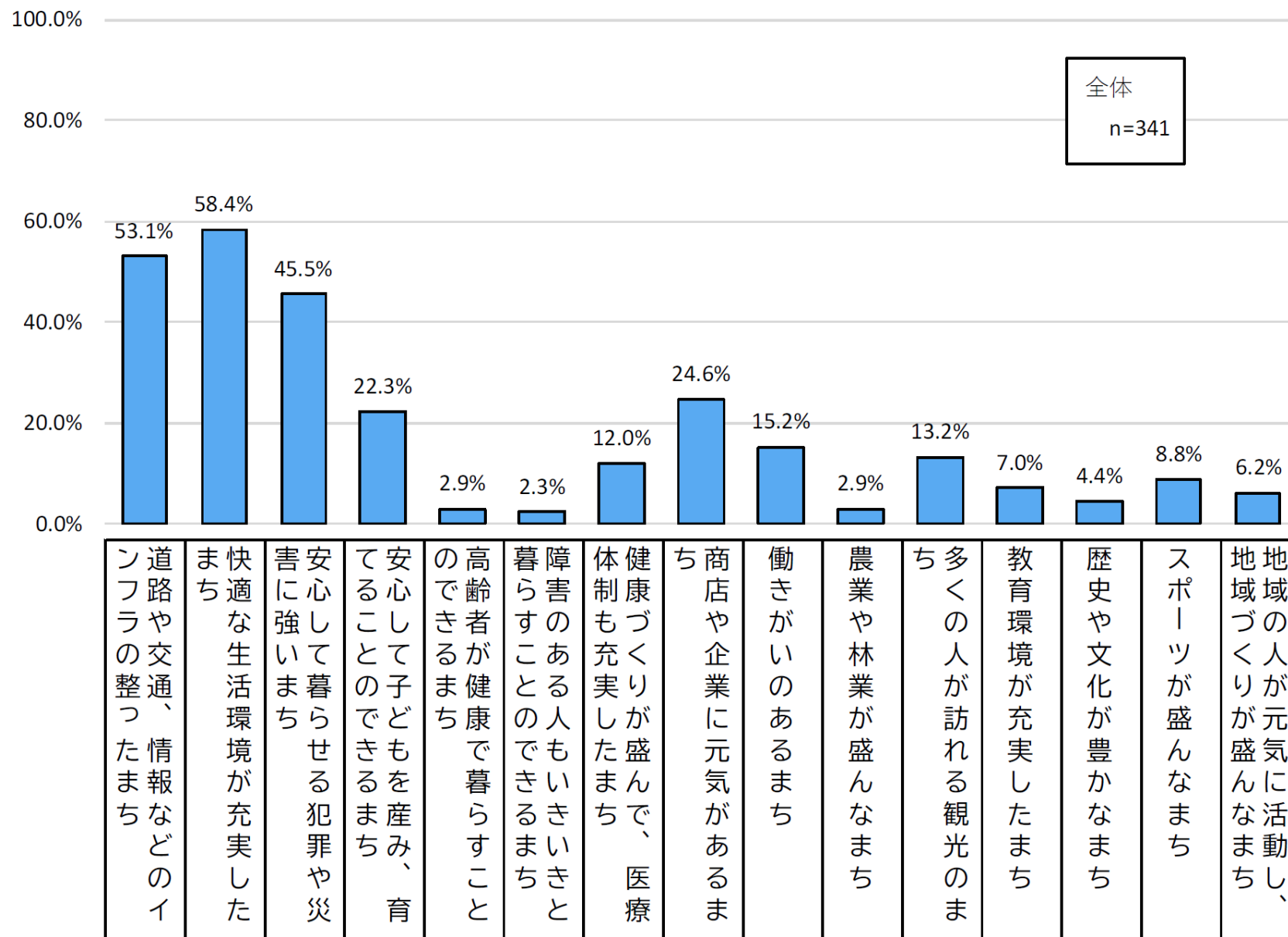
②何年か市外に住んでその後、大野市に住みたい

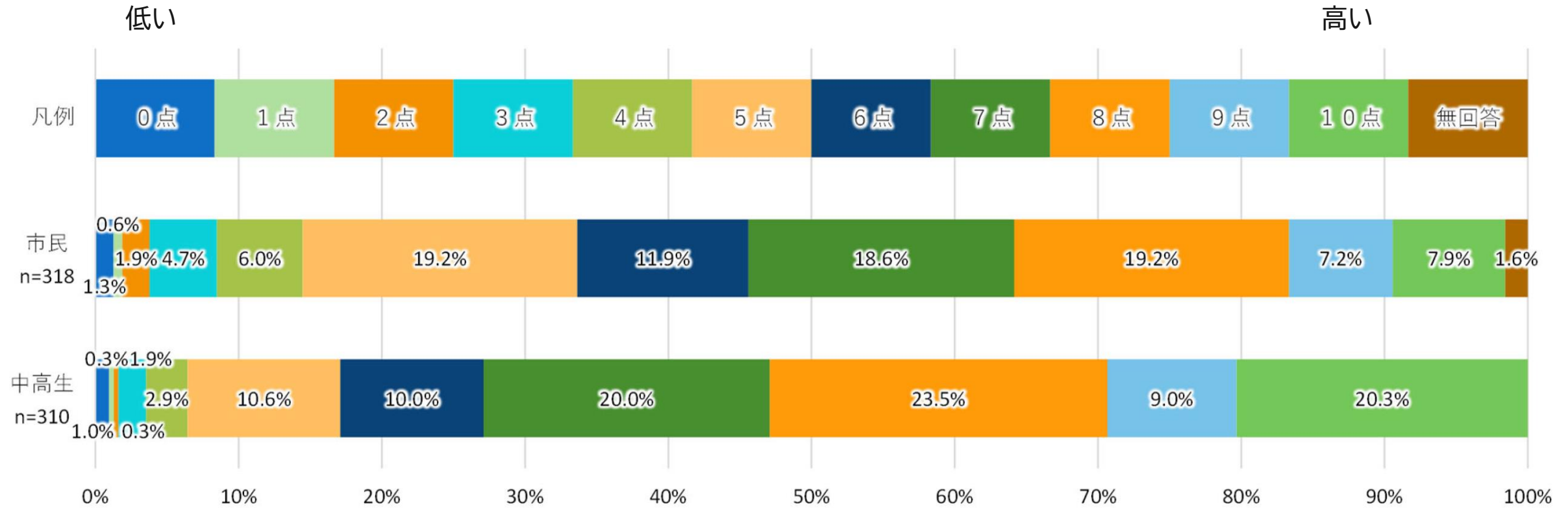
③福井県内のどこかで住みたい

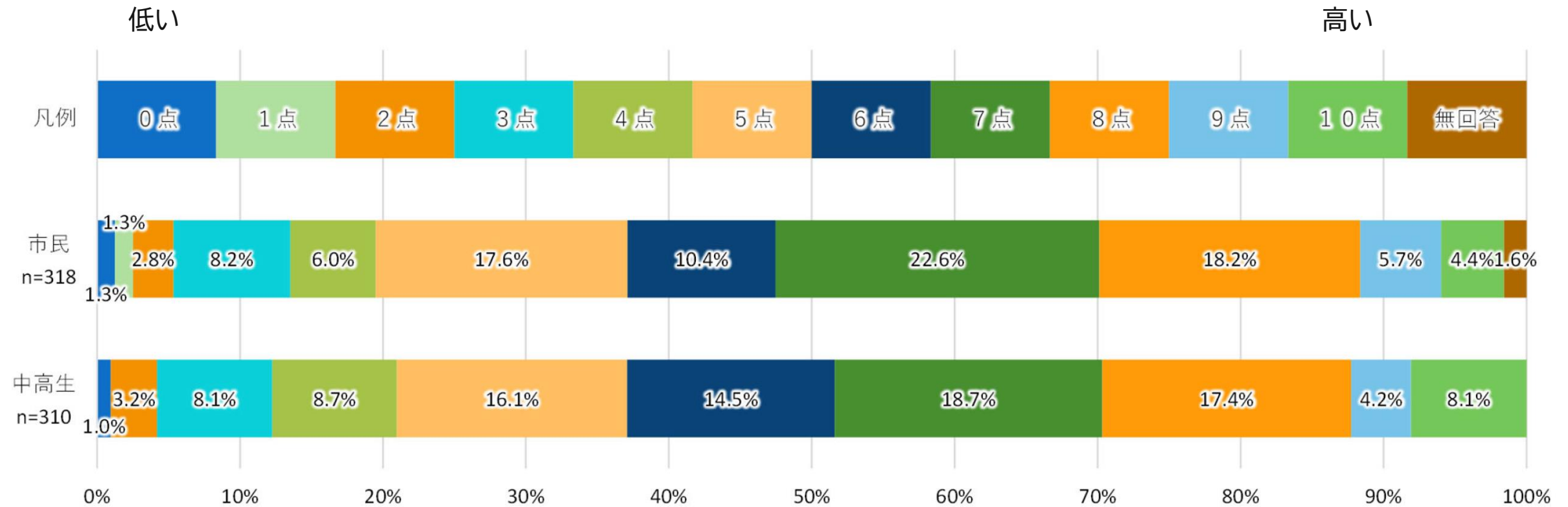
④福井県外のどこかで住みたい

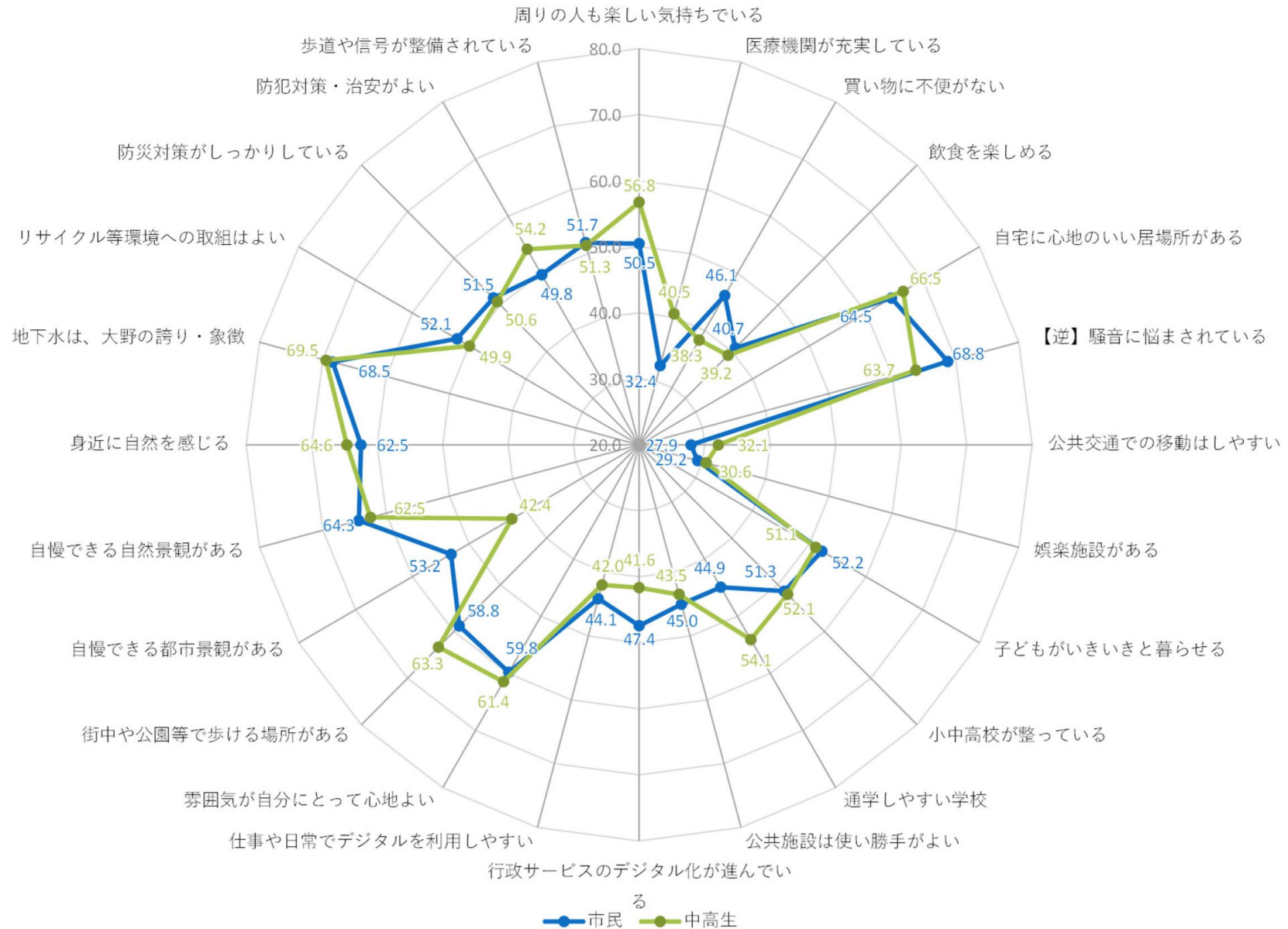
⑤無回答











ダッシュボード

表示中のデータ選択条件

都道府県を選択

福井県

市区町村を選択

大野市

調査種別を選択

個別調査

年度を選択

2024年度版(令和6年度版)

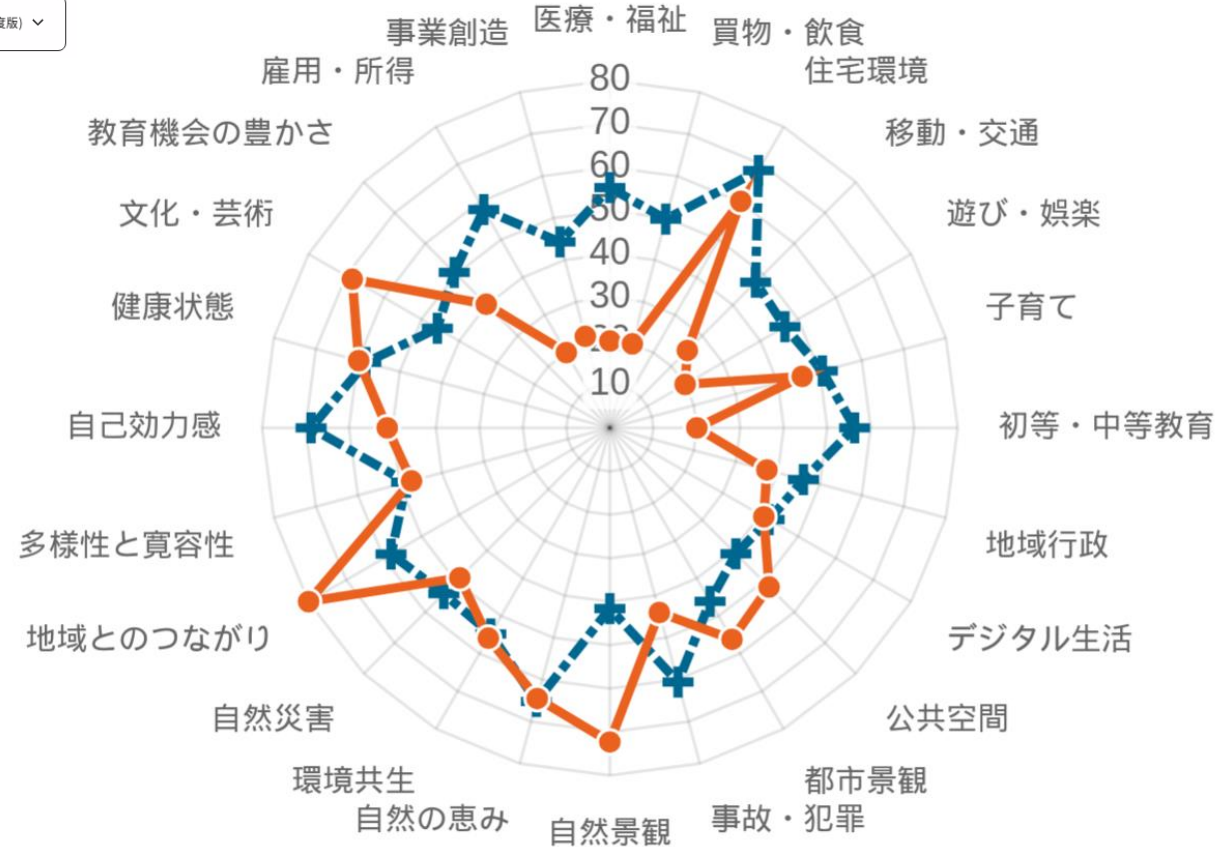
WEBサイトでの閲覧方法

「デジタル庁 ウェルビーイング」で検索

<https://well-being.digital.go.jp/dashboard>

- ①「ダッシュボード」ページへ
- ②都道府県「福井県」を選択
- ③市区町村「大野市」を選択
- ④調査種別「個別調査」を選択
- ⑤年度「2024年度版」を選択

※当WEBサイトに公開することで、
他市町等との比較が可能に



— 主観データ
- - 客観データ

【出典】 2024年度版(令和6年度版) Well-Being 個別調査

将来像
分野・基本目標
基本構想

人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち

こども

未来を拓く大野っ子が
健やかに育つまち

健幸福祉

健幸で自分らしく
暮らせるまち

地域経済

歴史・風土と新たな強みを
生かした活力あるまち

くらし環境

豊かな自然の中で
快適に暮らせるまち

地域づくり

みんなでつながり地域が
生き生きと輝くまち

施策展開
の視点

SDGsの推進／ウェルビーイング／シェアリングエコノミー／ジェンダーギャップの緩和

項目

施策
（記載内容は前期基本計画）

後期基本計画

1
子育て

2
学び

- 1-1 結婚から子育てまで切れ目のない支援
- 1-2 保護者ニーズに応じた子育てサービスの提供
- 1-3 サポートが必要な子どもと家庭の支援
- 2-1 優しく賢くたくましい大野人の育成
- 2-2 児童生徒の教育環境の整備
- 2-3 地域と学校が連携した子どもの育ちの支援

3
健康・医療

4
地域福祉

5
スポーツ

- 3-1 ライフステージに応じた健康づくりの支援
- 3-2 地域医療体制の充実
- 3-3 感染症などの予防や対策
- 4-1 地域共生社会の実現に向けた取り組み
- 4-2 高齢者への支援
- 4-3 障がいのある人への支援
- 5-1 スポーツを楽しむ取り組みの推進
- 5-2 競技力向上の支援
- 5-3 子どものスポーツ活動の充実

6
農業

7
林業

8
商工業

9
観光業

10
働く環境

- 6-1 魅力ある農業経営の実現
- 6-2 越前おおの産農林水産物の生産販売・振興
- 6-3 多様な人材活躍による農山村の維持と活性化
- 6-4 農地の適切な管理と有効利用
- 7-1 林産物の生産能力の向上支援
- 7-2 山林の適切な管理
- 7-3 林業従事者の確保と育成への取り組み
- 8-1 事業者の経営課題に対する総合的支援
- 8-2 まちなかの賑わいの創出
- 9-1 魅力ある地域資源の観光活用
- 9-2 観光客の来訪数と満足度を高める取り組み
- 9-3 観光営業活動の強化と情報発信の充実
- 10-1 企業の魅力・生産性向上と就業支援
- 10-2 企業誘致と新たな産業の育成

11
自然環境・脱炭素

12
水環境

13
生活環境

14
消防・減災

15
道路

16
公共交通

- 11-1 脱炭素社会の実現に向けた取り組み
- 11-2 ごみの減量化と資源化の推進
- 11-3 環境美化と環境教育の推進
- 12-1 流域マネジメントの推進
- 12-2 水循環に関わる人材育成と水文化の継承
- 12-3 気候変動や地下水障害への対応
- 12-4 河川や地下水の水質保全
- 13-1 景観に配慮したまちづくり
- 13-2 安全で快適な住宅環境の整備
- 13-3 上下水道基盤の整備と適切な維持管理
- 14-1 災害に備えた体制の整備
- 14-2 消防・救急体制の強化
- 15-1 幹線道路等の整備促進
- 15-2 雪や災害に強い生活道路の整備・維持
- 15-3 健康づくりや低炭素社会実現への取り組み
- 16-1 公共交通の活用・維持の推進
- 16-2 北陸新幹線や中部縦貫自動車道、人口減少社会を見据えた地域交通のあり方の検討

17
ひと・地域

18
防災力・防犯力

19
文化芸術

20
移住定住

- 17-1 地域を担う人づくりや生涯学習の推進
- 17-2 地域での交流と支え合い
- 17-3 地域住民の活動拠点づくり
- 18-1 地域における防災力の充実と強化
- 18-2 犯罪や事故の防止
- 18-3 空き家などの対策の推進
- 19-1 文化芸術の振興と継承の推進
- 19-2 文化遺産・自然遺産の保護と活用
- 19-3 郷土の歴史や文化の魅力発信
- 20-1 住まいや仕事の確保の支援
- 20-2 地域での受け入れ環境の整備
- 20-3 大野の魅力発信

行政経営

結のまちを持続的に
支える自治体経営

21 情報共有

- 21-1 情報発信や情報提供の充実
- 21-2 施策情報の共有と市民意見の市政への反映

22 協働・連携

- 22-1 市民協働のまちづくりの推進
- 22-2 他自治体などとの協働や連携

23 市民サービス

- 23-1 申請等の手続きのオンライン化の推進
- 23-2 わかりやすく丁寧な市民サービスの提供

24 行財政

- 24-1 持続可能な財政運営
- 24-2 次世代を見据えた「シゴト改革」
- 24-3 人材育成と組織の整備
- 24-4 市有財産の適正管理と、効果的で効率的な活用

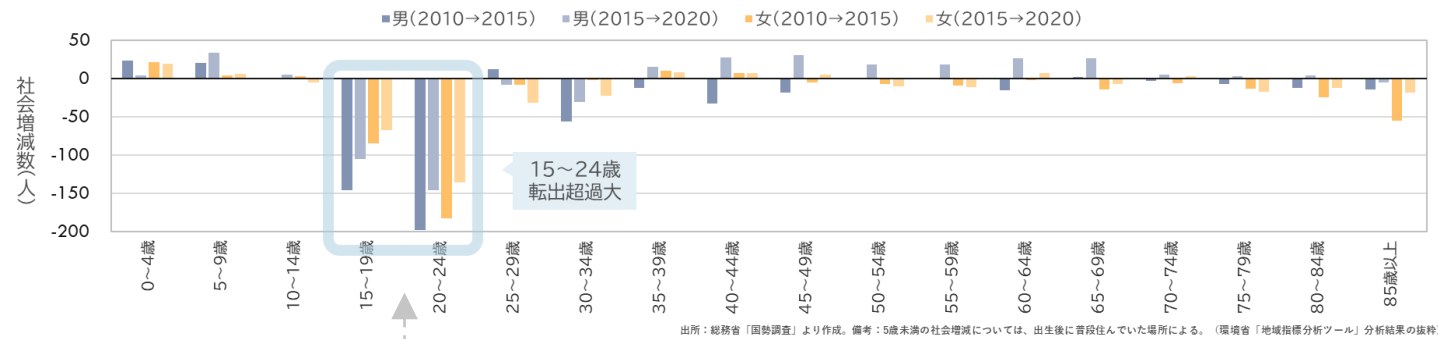


分野・基本目標

項目・施策（記載内容は前期基本計画）

ウェルビーイング・シェアリングエコノミー・ジェンダーギャップの緩和

■ 大野市 社会増減数(年齢階層別 男女別 2010→15/2015→20)



ジェンダーギャップの緩和

男女の性別によって生じる格差を無くしていくこと。

性別による格差や無意識の思い込みなどは、地方から女性や若者が流出する要因の一つとして挙げられている。

地域全体でこれらの緩和に努め、女性や若者の流出抑制を図るとともに、女性や若者をはじめ、誰もがもっとイキイキと暮らすことができるまちづくりにつなげていく。



ウェルビーイング

個人や社会のよい状態、心身ともに満たされた状態を指す言葉。

市民の幸福度や暮らしの満足度をはかるものさしとして組み入れ、住み続けたいまち、イキイキと暮らせるまちづくりの進捗を把握し、施策の改善や新たな施策の展開につなげていく。

ウェルビーイング
指標の結果・値など

PDCA
サイクル

施策



ウェルビーイング指標

人口

SDGs(持続可能な開発目標)の推進

長期的な国際目標として国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)。

総合計画に掲げる施策とSDGsの目標を関連付け、多様な主体が連携して施策を展開することでSDGsを推進し、持続可能なまちを目指す。

シェアリングエコノミー

個人や企業などが持つモノや場所、スキルなどの資源を、必要な人に提供したり、共有したりする新しい経済の仕組み。

住民による共助型の移動支援、家庭で余っている食品を寄附し食品ロスを削減するフードドライブの取り組み、副業の推進などが挙げられる。

人口が減少する中、限られた資源を有効に活用するとともに、資源の共有や助け合いを通じた人と人との関わりを創出し、持続可能なまちづくりにつなげていく。